

あなたの地域の活動「ちい活」を応援します！

# 地域のわ通信



## 第2回 概要

第2講はリアル開催になりました！メインテーマは「仲間とすすめる地域活動のつくり方～活動の応援者・理解者を増やすコツ」です。受講生が新たな活動を地域で実践するために必要な要素を、地域活動の実践者のお話や講義、グループワークで深めていきました。

今回も地域ケアプラザのコーディネータに参加していただいたことで、受講生の地域でやりたい活動の理解がすすみました。

アイスブレイクは、前回はオンラインだったこともあり、受講生全員が知り合うワークを行いました。そのあと、ちょっと先を行く4人の地域活動の先輩から、地域に住む人たちとのつながりづくりを中心に話をうかがいました。また、講義「コロナ禍における地域活動、5つの手順」では、地域活動プランの考え方を具体例を通して学びました。

## 1 アイスブレイク



「自分から相手を選ばないで、広い視野でつながりを作りましょう」と、塚原さんのファシリテーションで、受講生それぞれが自己紹介シートを名刺のように交換しました。お互いの共通点がわかったり、地域での活動を紹介しあったり、楽しい交流タイムとなりました。

## 講座概要

日時：令和3年10月16日（土）

13：00～16：00

場所：横浜市市民協働推進センター

主催：神奈川県連合町内会自治会連絡協議会・  
神奈川県役所・認定NPO法人市民セクター  
よこはま

参加者：15名 ＊受講者数20名

## 当日のプログラム

- ①アイスブレイク（自己紹介）
- ②地域活動の先輩から取組紹介
- ③プチ講義「コロナ禍における地域活動、5つの手順」

認定NPO法人市民セクターよこはま  
事務局長 吉原 明香氏

- ④お互いのアクションプランを伝え合う  
神奈川県地域子育て支援拠点かなーちえ  
施設長 NPO法人親がめ理事 塚原 泉氏

## 2 地域活動の先輩から取組紹介

### 活動のわだかまりをカルタに

菅田町を走るバス停に、花壇や鉢を配置し、花や花木を植栽する活動を平成28年から実施しています。年数を経て地域の方に受け入れられる活動になってきました。活動の仲間が増えると、わだかまりや不満が出てきます。活動カルタに活動の思いを吐き出してもらい、モチベーション維持を工夫しています。



街なみ花物語  
田中 揚子さん  
(第1期卒業生)

### 今では、活動を楽しんでいます

子育てが大変だったころ、地域の方からかけてもらった言葉に勇気をもらいました。今度は自分の番と思い「地域に人を癒せる給水所を作ろう」という言葉に刺激され、親子のたまり場「かめっこ」を開催しました。ゲートキーパーになりたい、人の役に立ちたくてはじめた活動ですが、今は自分が一番楽しんでいます。



羽沢長谷かめっこ  
飯室 恵理さん

### 地域を知ると地域を好きになる

神大寺・片倉地域を中心とした暮らしに役立つ情報を発信しているサイトを令和2年8月に立ちあげました。何十年と神大寺に住んでいながら、案外地元のことを知らなかったことに気づき、地元の良いさを伝えたくてこのサイトを作りました。



神大寺ナビ  
頼 栄明さん  
(第6期卒業生)

地域を知ると地域のことに興味を持ち、地域を好きになると思っています。

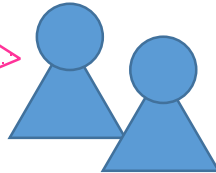
### 思いを口にする则実現します

地域につながりがない中、町内会の活動を始めました。主任児童委員をしていた時に、校長先生から、子どもの朝食ぬきによる弊害を聞きました。地域づくり大学校では、それを解決するプランを考えました。振り返れば、思いを口にしているうちに、つながりができ、夢が現実になっていった感じです。



ふれあっこ三ツ沢  
小川 真奈美さん  
(第1期卒業生)

新子安、六角橋地域ケアプラザのコーディネーターさんが参加！的を得たアドバイスが、受講生の活動に勇気をくれました。



ブレイクタイム！  
飛び入りで、脳トレ体操を受講生が指導。楽しい～♪

## 4 お互いのアクションプランを伝え合う



地域活動テーマが近いグループに分かれ、自身が描いた地域でやりたい「アクションプラン」について、グループ内で色付きの付箋を使って意見交換をしました。

ピンクの付箋：イイね  
黄色：協力できること  
青色：アドバイス

### 受講生の感想（一部抜粋）

■思いを言葉にすると何かが変わる ■活動は自分のためになる ■活動は楽しむこと ■地元のことを知ると地域が好きになる ■活動を始めるのではなくすでに始まっている ■経験は力なり



## 3 7千講義「コロナ禍における地域活動、5つの手順」



コロナ禍で地域活動にも変化が求められている一方で、楽しさを分かち合いながら活動していくことは変えてはいけないものです。

活動は、3人程度の仲間ができれば、地域のリーダー、区役所、ケアプラザなどに相談する。根回しも忘れず。小さくスタートし、地域で活動を容認してもらえらる雰囲気づくりも必要です。